

事業概要シート

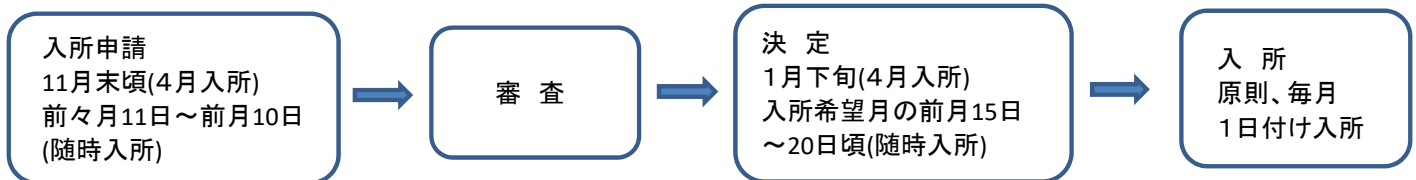
担当部名	こども未来部	事業名 (子事業名)	放課後児童クラブ運営事業費
担当課名	こども育成課	根拠法令・例 規・要綱等	児童福祉法、子ども・子育て支援法
担当係名	放課後こども係		厚木市立放課後児童クラブ条例及び同施行規則
事業開始年度	平成27年度		

事業概要

目的	就労や疾病等で、授業終了後や学校長期休業中の昼間、保護者が家庭にいない児童を預かり、適切な遊びと生活の場を提供して、児童の状況や発達段階を踏まえ、健全な育成を図ります。
対象	就労や疾病などで、昼間保護者が家庭にいない児童
事業詳細 (実施内容・ 実施手法等)	<p>市内23小学校区で小学校の一時的余裕教室等を活用し、市立放課後児童クラブを運営。</p> <p>【利用対象者】市立小学校に就学している児童</p> <p>【開所時間】平日(学校が開校している日)授業終了後～19時(最長) 土曜日、夏休みなどの長期休業日:7時30分～19時(最長)</p> <p>【休所日】日曜日及び祝日、年末年始(12/29～1/3)、夏季休業中における学校閉庁日等</p> <p>【育成料】月額4,000円(18時まで利用する方) 月額4,800円(19時まで利用する方)</p> <p>【クラブ費】月額3,500円(おやつ代、教材費など実費分)</p> <p>令和3年度入所児童数 1,163人</p> <p>※ 夏休み期間限定入所受付あり</p> <p>※ 待機児童対策として、令和2年度から特に待機児童が多い清水小・妻田小学校エリアにおいて、民間事業者による受け入れを行っています。</p> <p>※ 放課後児童健全事業者として届け出ている民間の児童クラブ8団体に対して補助金を交付し、運営費の補助をしています。</p>
事業の効果	保護者は、児童に安全な居場所が提供されることで安心して仕事ができます。 また、児童は、学習や読書のほか適切な遊びや異学年との生活の場があることで、健全な育成やコミュニケーション能力の向上を図ることができます。
事業周知方法 ・内容	市のホームページ及び広報あつぎ(11/1号)で入所募集 市内幼稚園、認可保育所等に入所申請受付の周知ポスター掲示依頼(掲出期間:10月上旬～受付期間終了まで)

事業の全体像(フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明)

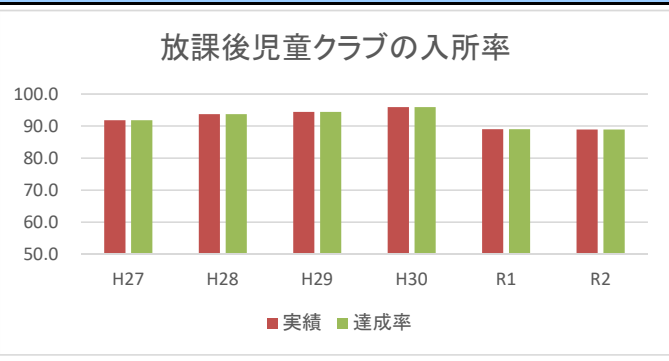
入所までの流れ



児童クラブの様子



成果指標	指標名	放課後児童クラブの入所率				成果指標の推移グラフ	
	指標の説明	4月1日現在における申請に対する入所児童率					
		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	目標	%	100.0	100.0	100.0		100.0
	実績	%	95.9	89.0	88.9		
	達成率	%	95.9%	89.0%	88.9%		
指標備考	入所児童数 申請件数 × 100						



事業のコスト

コスト	単位	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算見込み)	令和3年度 (予算)
	事業費	千円	308,307	337,370
人件費	34,616		42,405	
経費総額	342,923		379,775	

人件費内訳	令和元年度人件費内訳 (単位: 千円)				令和2年度人件費内訳 (単位: 千円)			
		行政職 1	@ 8,654 × 4.00 人	=	34,616	行政職 1	@ 8,481 × 5.00 人	=
	行政職 2	@ 8,984 × 人	=	0	行政職 2	@ 8,987 × 人	=	0
	消防職	@ 8,805 × 人	=	0	消防職	@ 8,640 × 人	=	0
	再任用	@ 3,524 × 人	=	0	再任用	@ 3,688 × 人	=	0
	臨時職員	@ 1,110 × 人	=	0	臨時職員	@ 1,164 × 人	=	0
	その他	× 人	=	0	その他	× 人	=	0

事業費及び財源内訳 (千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他
	R01 (決算)	308,307	47,388	205,538	0	55,381
	R02 (決算見込み)	337,370	68,133	224,913	0	44,324
	R03 (予算)	450,349	210,385	174,270	0	65,694

事業費内訳	【歳入】		【歳出】		
	放課後児童クラブ育成料	65,282千円	報酬	246,365千円 (指導員報酬)	需要費
放課後児童クラブ育成料(滞納繰越分)	50千円	手当等	47,847千円	役務費	4,403千円
子ども・子育て支援交付金(国)	94,885千円	(指導員期末勤勉手当)		委託料	34,185千円
子ども・子育て支援交付金(県)	79,385千円	共済費	18,234千円	使用料及び賃借料	67,009千円
		報償費	50千円	備品購入費	198千円
		旅費	6,944千円		

①市民要望
②社会的要請
③課題

①平成30年度に実施した子ども・子育て支援事業ニーズ調査において、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかという問いに対し、放課後児童クラブ(公設及び民間)の割合が18.9%となっています。
②子ども・子育て支援法に基づき策定されたあつぎ子ども未来プラン(第3期)において、市民のライフスタイルや働き方が多様化する中で、小学生の遊びと生活の場を確保し、次代を担う人材を育成する観点から、小学生が放課後等に安心かつ安全に過ごせる体制づくりの重要性が挙げられています。
③指導員不足等により児童の受け入れ可能人数が限られているため、待機児童解消のための方策を検討する必要があります。

上記課題等への対応や見直しの方向性

待機児童が特に多い妻田小学校及び清水小学校区において市の基準に基づいて受け入れをする民間児童クラブを公募し、待機児童解消を図りました。
また、指導員不足を解消するため、派遣委託等を行いました。

直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	見直しの有無	有
	待機児童対策として、公募により市の基準に基づいて受け入れをする民間児童クラブを募集し、令和2年4月から受け入れを開始しました。	

関連事業